

これまでの会議の報告

近畿地方整備局 淀川河川事務所
河川保全利用委員会 事務局

平成30年度 会議の流れ

連絡調整会議(9月14日開催)

【内容】

- ・前年度の報告、および今年度の河川保全利用委員会について

占有者勉強会および説明会(10月24日(水)開催) 於:中央流域センター

【内容】

- ・占用地の外来植物対策について、河川保全利用指針について(勉強会)
- ・占有施設説明書、およびチェックリストについて(説明会)

河川保全利用委員会現地視察、および審議

委員会

現地視察会及び委員会(審議)

桂川河川保全利用委員会

12月 3日(月) さくらであい館

宇治川河川保全利用委員会

12月11日(火) さくらであい館

淀川本川河川保全利用委員会

12月17日(月) 中央流域センター

木津川下流河川保全利用委員会

1月18日(金) 京田辺市商工会館

連絡調整会議の報告

平成30年度 連絡調整会議の報告

■連絡調整会議

- 日時 平成30年9月14日(金) 10:00～
- 場所 中央流域センター
- 出席者

	氏名	役職	所属・役職	出欠
淀川本川	森本 幸裕	委員長	京都大学 名誉教授	○
	山村 恒年	副委員長	山村恒年綜合法律事務所 弁護士	ご欠席
宇治川	綾 史郎	委員長	大阪工業大学 名誉教授	○
	光田 重幸	副委員長	同志社大学 非常勤講師	○
桂川	澤井 健二	委員長	摂南大学 名誉教授	ご欠席
	塚本 明正	副委員長	子ども川の会 事務局長	○
木津川下流	村上 興正	委員長	元京都大学 理学研究科 講師	○
	宗田 好史	副委員長	京都府立大学 副学長	ご欠席

■連絡調整会議での委員の意見等

- ✓ 前回審議での指摘に対し、改善・工夫した点を、わかりやすく説明していただきたい
- ✓ 占用地を返還する際のルールが明確になっていない。基本的に原状復旧となる。
- ✓ 昨年度作成した「指針案」を占有者に示していくことは問題ない。
- ✓ 出水で冠水しやすい場所にある占用地などについては、適正な代替地を見つけるなどの指導をしていく必要がある。
- ✓ 川の自然に触れ合うことも重要だが、自然の「怖さ」をきちんと理解して付き合うことが大事。淀川はゼロメートル地帯を抱えるので、災害が発生した場合にどのような被害が起きるのか、事前に知っておく必要がある。



占有者勉強会・説明会の報告

■ 占用者勉強会

- 日時 平成30年10月24日(水) 13:30~14:45
- 場所 中央流域センター
- 講師 光田先生(宇治川保全利用委員会 委員)
- 出席者 占用者34名、河川管理者3名、事務局4名



占用地の外来植物対策



アレチウリ(特定外来生物)



■ 占用者説明会

- 日時 平成30年10月24日(水) 15:00~15:45
- 場所 中央流域センター
- 出席者 占用者22名、河川管理者3名、事務局4名
- 説明内容
 - ✓ 過年度の動向、各委員会での主な指摘内容について
 - ✓ 占用施設説明書(様式)およびチェックリストの記入方法について
 - ✓ 関係部所間の分野横断的連携の推進
 - ✓ 施設利用者数の計測方法について資料に明示する
 - ✓ 配布した「指針(案)」を活用いただきたい

